

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「超スマート社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

異分野共創型の AI・シミュレーション技術を駆使した健全な社会の構築

3. 研究開発課題名

自律分散的世界メッシュ統計基盤アーキテクチャの設計と実証

4. 研究開発代表者名(機関名・役職は評価時点)

佐藤 彰洋(横浜市立大学大学院データサイエンス研究科 教授)

5. 評価結果

評点: A (優れている)

総評:

本研究開発課題は、自律分散的世界メッシュ統計基盤を用いて、多種多様なデータの視覚化や流通を目指すものである。これが一元的に実現されれば大きな社会的・経済的インパクトを生む、重要な研究開発である。MESHSTATS の参加者が増えることにより、研究開発が加速する可能性がある。

探索研究において、事業データや研究データの交換を伴う検証作業のために、多くの外部組織と連携してユースケースの発掘やイベントを実施したことは評価できる。若手研究者の育成の意義が高いワークショップの開催、および商用実証実験を行っていくための会社の設立など、次世代を意識した実用化を目指した取組も評価できる。また、国際標準化活動やリファクタリングを積極的に進めていることも、優れた成果と認められる。

今後は、継続可能なデータ利活用の実装連携と、位置情報付きデータ活用サービスの拡大に向けて研究開発が発展することを期待する。

以上